

## ガーナ国農業分野における開発ニーズ(課題)

- ・国産米生産量の不足。(年120万トンの需要に対して、40万トンの生産量)
- ・市場性を高めるため、品質向上が必要。
- ・高品質な収穫後処理機材の不足。
- ・農家の収入が低く、機材購入が難しい。

## 提案製品・技術

日本国内では、戸別農家やコメ販売店で幅広く使われる規模の小型精米機であるが、タイで生産する廉価版を開発した。これとモバイル決済、簡易的な遠隔操作システムを組み合わせて、仮想的なコイン精米所のネットワークを構築する。

## 本事業の内容

- ・ 契約期間: 2022年11月～2024年2月
- ・ 対象国・地域: ガーナ国アシャンティ州クマシ市周辺
- ・ カウンターパート機関: ガーナ国食糧農業省、アシャンティ州農業局
- ・ 案件概要: 対象地域において、コメ生産量、既存の精米事業、粳の流通量、粳・白米の価格、賃搗業の料金など基本的な情報を調査する。その後、精米機実機及び遠隔操作システムを実際に設置し、試験的な運用を試みる。



小型もみすり精米機 A-1

## 開発ニーズ(課題)へのアプローチ方法(ビジネスモデル)

弊社の技術を活用した高品質な小規模精米業のネットワークを構築し、ガーナ国産米の品質向上を図る。現地ビジネスパートナーをメンテナンスの代理店としてトレーニングし、永続的に運用できるようにする。スペアパーツの供給も行う。

## 対象国に対し見込まれる成果(開発効果)

ガーナ全土に高品質な小規模精米所のネットワークを張り巡らせ、国産米の品質向上、需要喚起する。従来、粳で仲買人に卸していた農家が、高品質な白米を販売することで、収入向上につながる。小規模精米所が雇用を生み、集落が現金収入を得ることで、栽培面でも機械化の促進が期待できる。(Plant for Jobプロジェクト)